

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



賀茂神社の創立は孝徳天皇の白雉元年(650)または聖武天皇の天平元年(710)とも伝えられ、今から約1300年以前のことです。しかし、確証文書はありません。

この地は三河の国府(現豊川市白鳥町)から一宮を通り、本坂峠または宇利峠を越え、行々主要交通路にはこのまじりで、豊川を中流にして相対的に三河(宮城鹿神社)とも、穂の国(東三河)鎮護の神として、豊川の両岸に祀られたと考えられます。

また、天文の頃分所氏が寄進した文書や、

賀茂神社の由来

永禄年間、家康公が奉納せられた祭用大旗があり、代々の將軍から社領100石の寄進があったとして、近世においては、朝倉川上流の妙米町から新設中庭野まで、宗廟があり、いふ余戸の本を祀った神社であった。



賀茂神社の祭礼
 徳川家康公は永禄11年(1570)5月15日、遠州公陣に際し、当社に武運長久を祈願し、大旗を奉納された。

やがて家康公が東三河を領有するようになり、御生祭用の大旗は奉納された。

